



オンプレミスとクラウドの ギャップを埋める Azure Arc の魅力

日本マイクロソフト株式会社
塚本 修一

アジェンダ

1. Azure Arc による管理の必要性
2. Azure Arc の機能の魅力
 1. Azure Arc 対応サーバー
 2. Azure Arc 対応 Kubernetes
 3. Azure Arc 対応サービス
 1. Arc対応 SQL Server
 2. Azure Arc-enabled data services
 4. Azure Arc による ESU(Extended Security Updates) 購入
3. まとめ

※今回はプライベートクラウドに関する言及は割愛します。
もちろん、Arc はプライベートクラウドも対応しております。

Azure Arc による管理の必要性

Innovate anywhere with Azure Arc

場所を問わないイノベーションを Azure Arc で

Manage apps across hybrid and multicloud with Azure Arc



アプリケーションの未来は
クラウドネイティブである



2025年までの新しいデジタルイニシアチブの内、
クラウドネイティブなプラットフォームで構築される
ものの割合。2021年では40%以下。

なぜクラウドネイ
ティブである必要が
あるのか

要求に迅速に対応してスケールさせるため

より高い弾力性を実現するため

より良いアプリケーションを
より早く展開するため

クラウドネイティブ とは何か？



クラウドネイティブに開発し自由に展開する

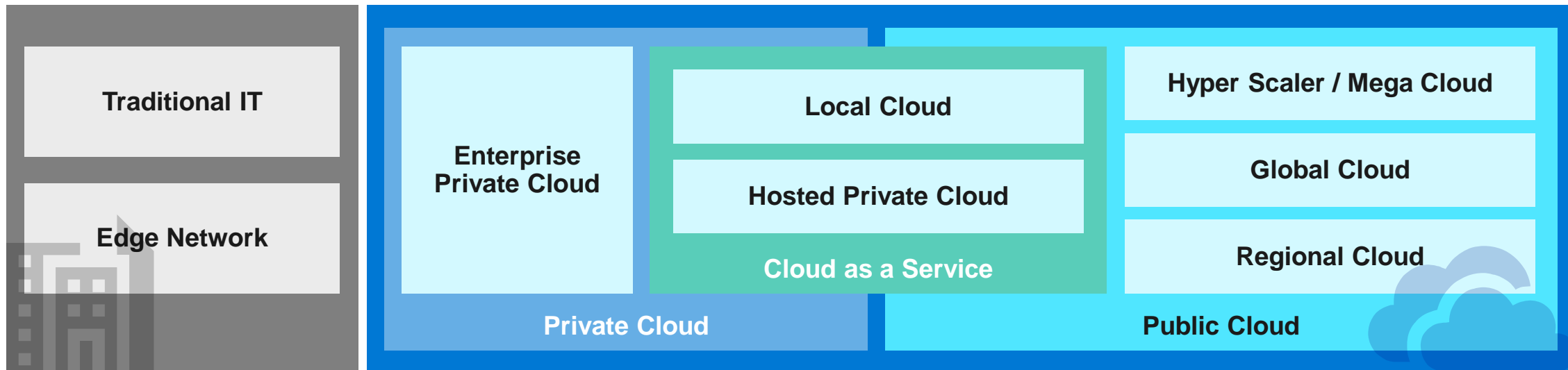
プログラミング言語の自由

ツールの選択肢

ハイブリッド・エッジ・
マルチクラウド

マルチクラウド・ハイブリッドクラウド志向に進む市場

多様化する IT インフラに各社がどう対応するのか？



IT インフラはオンプレクラウドの2 択で説明できないレベルに多様化が進んでいる



今はポストクラウド時代が近づいており、以下2つが求められている

1. プラットフォームを横断し、デジタル化促進を実現可能な、一貫した機能・価値を提供するサービス、ソリューション
2. プラットフォームを横断し、ガバナンスやセキュリティを担保するための、一貫した管理性を提供するソリューション

Microsoft はこれを **Azure Arc** として提供している





Microsoft Azure

Azure Arc



Azure Arc-enabled infrastructure

ハイブリッド リソースを
ネイティブ Azure リソースとして接続し、
操作する



Azure Arc-enabled services

Azure サービスを Azure の外部で
デプロイし、実行するが、
引き続き Azure から操作する



マルチクラウド



データセンター



エッジ

Azure Arc – リソース管理の一元化

Azure のサービスや運用管理機能を、すべての場所・インフラ上のリソースに対して提供

Azure Arc enabled servers



マルチクラウドの
サーバー運用とガバナンスの統合管理

クラウド、データセンター、エッジに広がるサーバーを、1か所から一元的に構成して管理することでガバナンスを担保

[Learn more](#)

Azure Arc enabled Kubernetes



マルチクラウドの大規模な
Kubernetes クラスターとアプリの
統合運用管理

DevOps の手法を使用して、Kubernetes アプリケーションをさまざまな環境で展開および管理

アプリケーションが、ソース管理から一貫して大規模に展開および構成されていることを確認

[Learn more](#)

Azure Arc enabled data services



Azure のデータサービスを
どこでも実行可能に

遅延やコンプライアンスの理由から、必要な場所にデータ サービスを展開および管理

常に最新のテクノロジーを使用し、オンプレミス、クラウド、エッジ全体にわたってデータ資産をシームレスに管理および保護

[Learn more](#)



Azure のエンタープライズ管理機能の恩恵を受ける



Servers and K8s
clusters anywhere



Azure Arc



Management & Security

Azure Policy

Azure Defender

Azure Sentinel

Azure Monitor

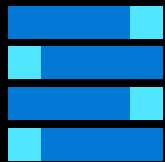
Change & Inventory tracking

Update Management

Azure Arc 対応サーバー

Azure Arc 対応サーバー

Azure Arc を使用してオンプレミスとマルチクラウドのサーバーを Azure で一元管理する



リーチ

Linux と Windows
VM とベアメタル
ドメインに依存しない



整理と インベントリ

大規模で検索可能なインベントリ
管理エクスペリエンスの統一
一貫した VM 拡張機能
Azure Lighthouse との統合



ガバナンス

組み込みの Azure Policy
複数環境にまたがるコンプライアンス
一元化されたエージェント管理
(監視、セキュリティ、更新管理)



セキュリティ

Azure Active Directory の
マネージド ID 統合
サーバーのセキュリティベースライン
ロールベースのアクセス制御



Azure Arc-enabled servers & Azure Arc-enabled SQL server

On-premises and multi-cloud integration



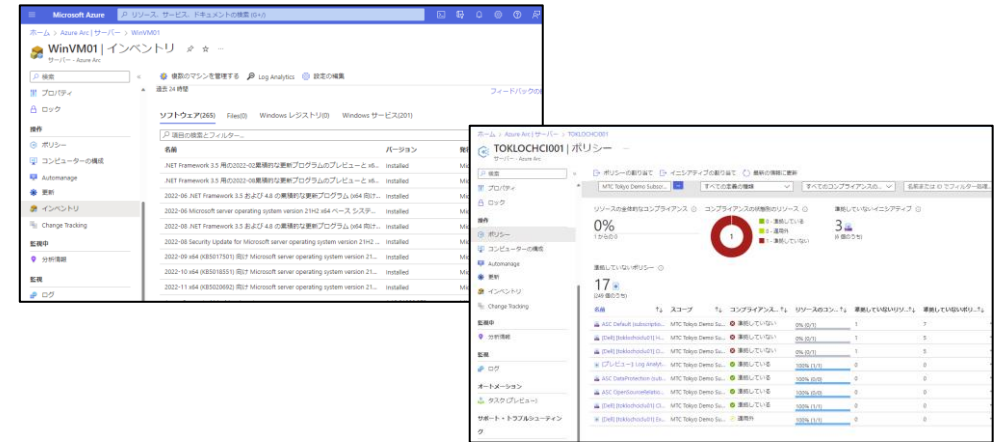
Azure Arc で Azure の管理性を Azure 外へ拡張する

Azure ネイティブな機能を使い可視性を確保

Azure Policy 利用することで大規模な環境への標準の適用と、準拠状態の評価を行い、環境全体の可視性を担保する

Azure Automation のインベントリ管理や更新管理機能を利用することで、管理している環境をタイムリーに把握し、ガバナンス

管理対象の環境全体のオブザーバビリティを担保するために、**Azure Arc** を利用することで Azure 以外のプラットフォームも一貫性を持った管理を実現



アプリとインフラストラクチャにわたるフルスタックの監視による最適化

Azure からオンプレ・エッジまでくまなく監視

エンタープライズレベルのミッションクリティカルなシナリオに対応

あらゆるレベルでスタック全体を監視する機能

イノベーション向けの拡張可能なオープン プラットフォーム



Azure Arc で Azure の管理性を Azure 外へ拡張する

Azure セキュリティ サービスを適用してあらゆる場所を保護する

3 大クラウド プロバイダーとハイブリッド環境にわたってリソースの保護と防御を一元化

クラウドリソースだけでなくオンプレミスのサーバーでも脅威と脆弱性を検出して悪意のある攻撃を防御

セキュリティとコンプライアンスを確保したクラウド リソースの設定を徹底



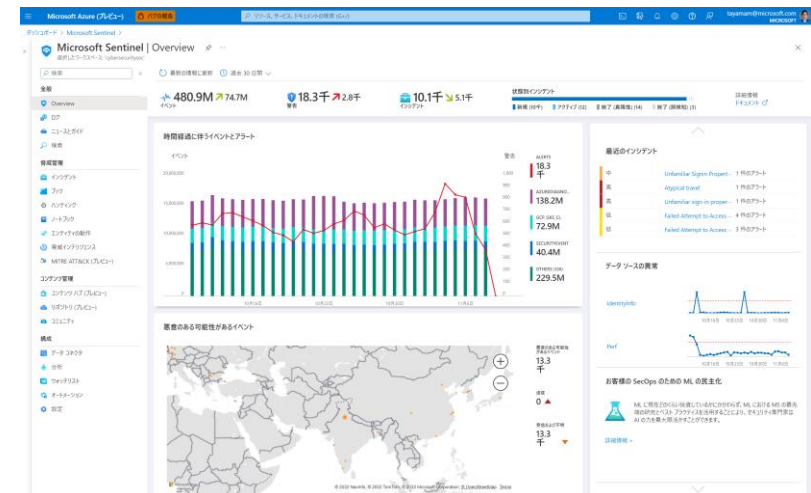
クラウド・オンプレ問わずあらゆる環境のセキュリティを監視し脅威を可視化

SIEM as a Service でログの長期保管や分析・利活用が可能

Microsoft 以外の製品のログも集約し企業のセキュリティ統合監視基盤として利用可能

AIを活用した行動分析(UEBA)やMicrosoft Defender for TI (Threat Intelligence) の活用により最新の脅威を検出

OA (IT) 環境だけでなく OT 環境の情報も集約して分析・監視



Azure Arc-enabled Kubernetes

The background features a solid blue field with several abstract, overlapping shapes. A prominent orange shape curves from the bottom left towards the center. A large, rounded purple shape is on the right side. A thin white line outlines a portion of the purple shape. The overall aesthetic is modern and tech-oriented.

Azure Arc-enabled Kubernetes

Azure Arc を使用して、あらゆる場所で行われる Kubernetes クラスターおよびアプリを接続、管理、運用できる



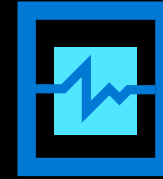
接続

複数のフレーバーのサポート
既存のクラスターへのデプロイ
OSS エコシステム対応



設定

GitOps ワークフローの構成
複数のクラスターにまたがる
目的の状態の適用
クラスターと名前空間のサポート



運用と 監視

Azure Monitor の統合機能
正常性状態レポート
クラスターとアプリの監視機能



ガバナンスと セキュリティ保護

組み込みの Azure Policy
クラスターのセキュリティベースライン
ルールベースのアクセス制御
複数環境にまたがるコンプライアンス



Azure Arc は任意の k8s をサポート

Kubernetes の DIY は複雑...

IT 側で考慮が必要な構成が多くある:

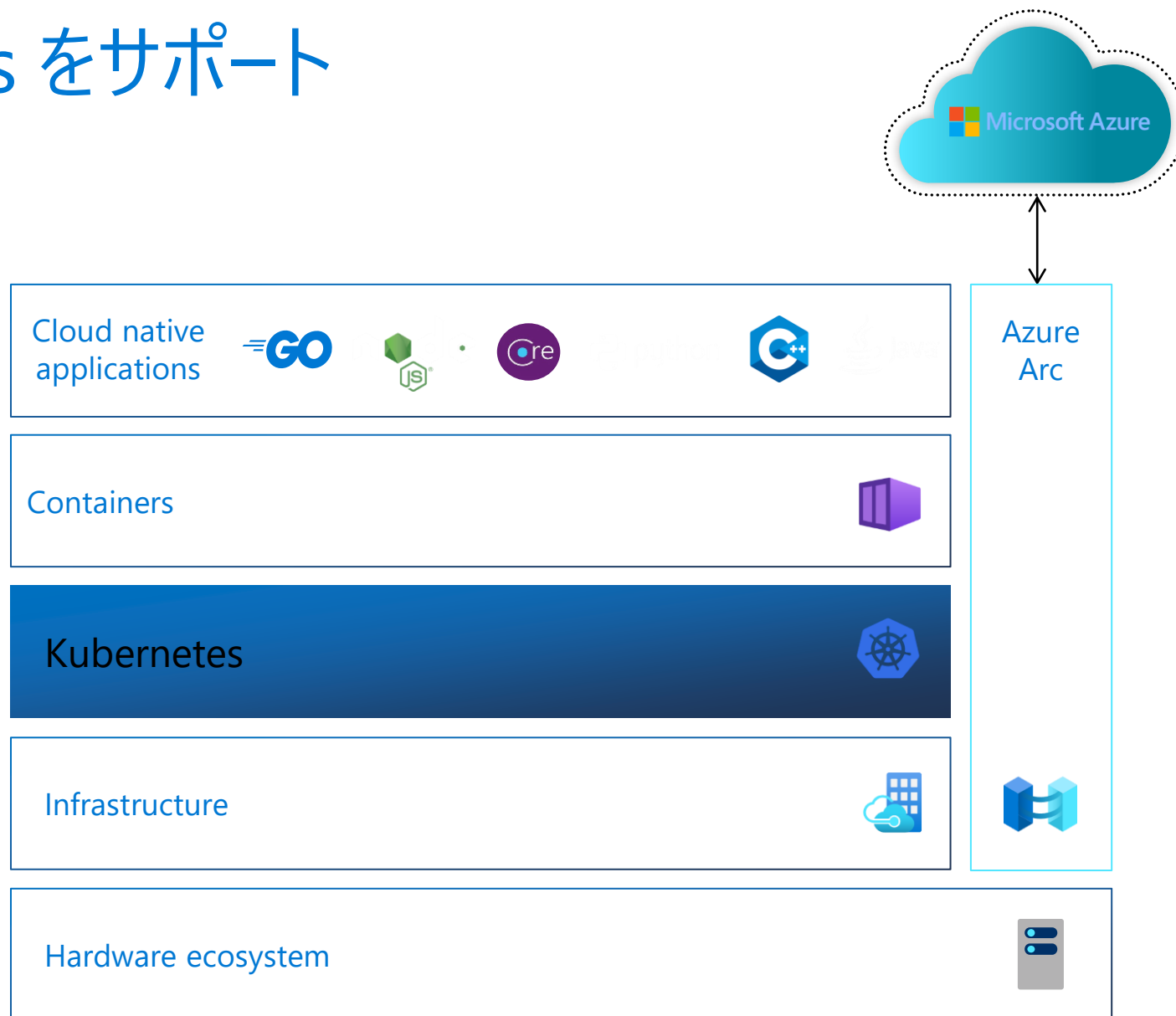
- Networking Interface (CNI)
- Secret storage (CSI)
- Cluster API
- Web UI/dashboard
- Load balancer
- Monitoring, logging
- Backup
- Container registry

物理的にマルチノード化してクラスター構成するにはコンポーネントの追加が必要:

- High availability
- SDN/network load balancing

各種構成・コンポーネントも含めたタイムリーな更新管理は難易度が上がりがち

Azure Arc で AKS like に管理!



Azure Arc 対応サービス

Arc-enabled services

様々な Managed Service / PaaS が Arc に対応し、Arc で接続された k8s 上へ展開可能に



SQL managed instances

フルマネージドの Microsoft SQL Server インスタンス。統合された管理機能により管理・運用のオーバーヘッドを最適化。



PostgreSQL Hyperscale

(preview)

Semi-managed PostgreSQL Hyperscale サーバークラウド。データや顧客情報の管理性の向上。



App services (preview)

Web アプリやモバイル、API の展開に。 .NET や Java、Node.js、PHP、Python 等をサポート。



ML Training / Inferencing

モデルのトレーニングと推論拡張機能をサポート。スタジオ開発エクスペリエンスやツールは Azure ML と統合。



Functions (preview)

サーバーレスソリューション。サーバーレスコンピューティングを実現するための機能群を提供し、サーバーレスアプリケーションの開発・展開や、利用を促進。



Logic apps (preview)

アプリ、データ、サービス、システムを統合する自動化された“ワークフロー”を作成および実行するためのプラットフォーム。多様なコネクタやビジュアルデザイナーが利用可能。



API management (preview)

ハイブリッド・エッジ・マルチクラウド横断の API 管理機能を提供。統一された管理プラットフォームで API 管理をより迅速に。



Container Apps (preview)

マイクロサービス・コンテナアプリ展開用のマネージドサーバーレスプラットフォームをハイブリッド・マルチクラウドへ拡張。

Azure Arc-enabled data services

あらゆる場所のデータ ワークロードのためのクラウド エクスペリエンス

GA

Azure SQL

パブリック プレビュー

Azure Database for PostgreSQL

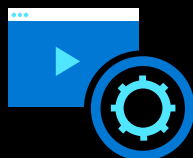


あらゆる接続モードをサポート



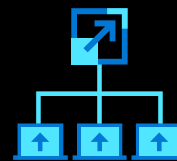
常に最新

自動更新
エバーグリーン SQL



サービスとして提供

組み込みの HA/DR
大規模な自動化



柔軟なスケーリング

スケール アップ、スケール アウト
ハイパースケール Postgres



統合管理

一元管理
一貫したワークロード



← 任意のハードウェア、任意の Kubernetes →



Azure Arc-enabled data services

Existing apps

Azure Arc-enabled SQL Server

整理、インベントリMicrosoft Defender for Cloudによるセキュリティ強化無料のSQLアセスメントサービス



一般公開

App modernization

Azure Arc-enabled SQL Managed Instance

Azure SQL マネージドインスタンスあらゆるインフラストラクチャで完全に自動化された常時稼働のSQLオンプレミス向けクラウド課金モデル



一般公開

Azure Arc-enabled PostgreSQL

PostgreSQL用Azureデータベースあらゆるインフラで完全に自動化された単一サーバースケールアップ/スケールダウン/スケールアウト/スケールイン



PUBLIC PREVIEW

クラウドデータ管理機能を備えた Arc 対応 SQL Server

AzureからSQL Serverを管理、統制、保護する



Azure Arc経由ですべてのSQL資産を管理する

一元管理 オンプレミス、Azure、その他のクラウドに配備されたすべてのSQLサーバーを一元管理

完全に自動化された技術評価
追加の費用なし



全てのデータをコントロール管理する

中央管理とガバナンス Microsoft Purview
をつかって、すべてのSQL Serverを管理
オンプレミスのSQLサーバーで利用可能な Purview アクセスポリシー



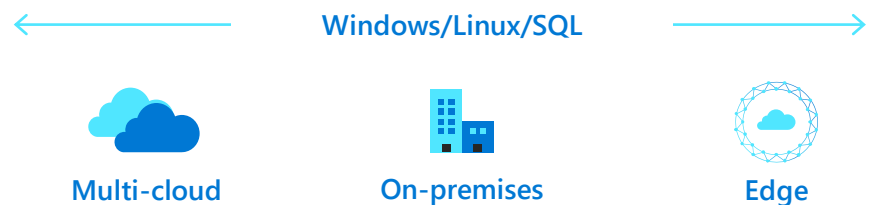
Azureセキュリティを使ってすべてのデータを保護

Microsoft Defender for Cloud
Secure identities with Single Sign-On
Azure Active Directory*



Azure Arcにより、既存のSQLサーバーを移行することなく簡単に接続可能

なぜAzure Arc for SQL サーバーなのか



分散したIT資産の統合された可視性

ライセンスの統合ビュー

OS または SQL Server の EOL が懸念され、ESU が必要性

移行を計画しており、アセスメントを実行している場合、Arc はアセスメント データを強化するためのリアルタイム更新を提供します

ベストプラクティスアセスメントによる環境の保護

MS Defenderによる悪質な行為者からの保護

導入コストは0ドル

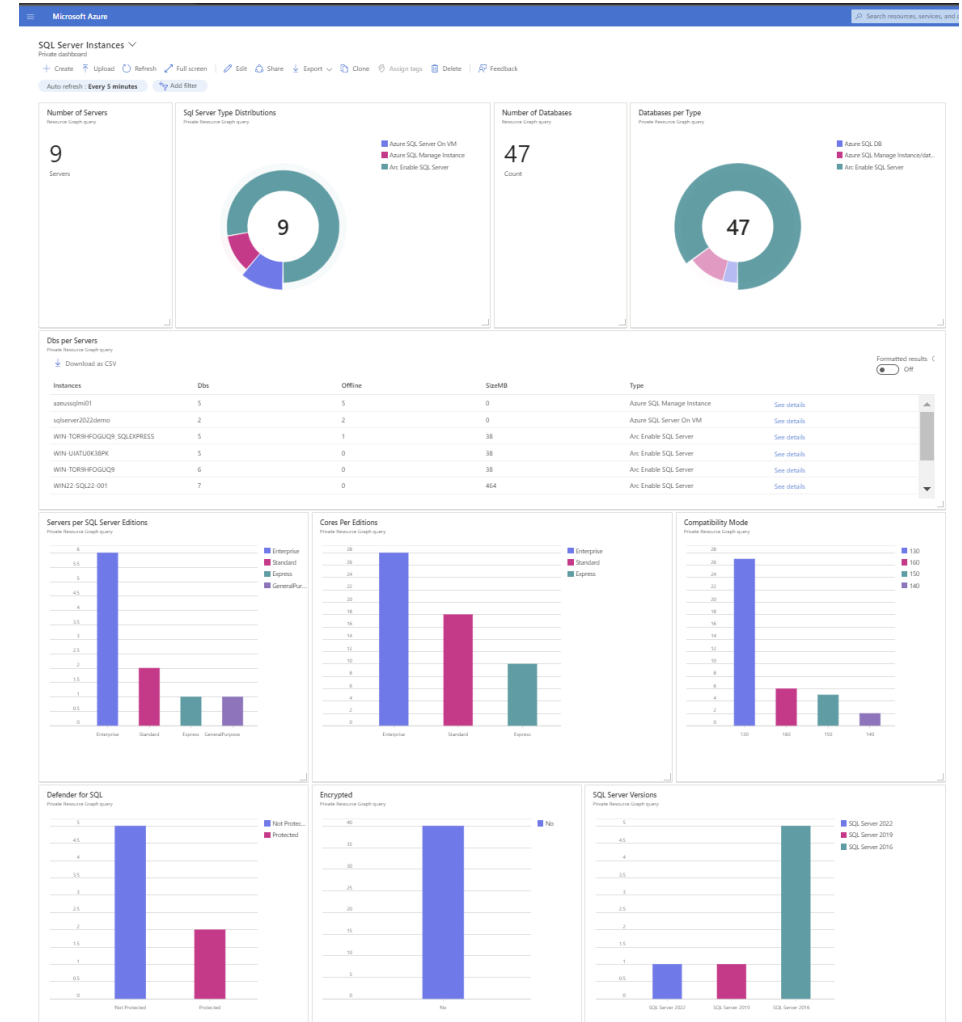
Arc SQL Server enable Azure portal Dashboard

SQLステート全体の可視性

VALUE

- ユニファイド・ダッシュボードでSQL Serverの状態に関する完全な情報を入手
 - SQL Edition毎のコア数の確認
 - 環境内のインスタンスとサーバーの数を確認する
 - インスタンスごとのデータベースのステータスとサイズの確認
 - その他
- ニーズに合わせてダッシュボードをカスタマイズ
- Azure SQL (IaaS、PaaS、オンプレ、またはハイブリッドクラウド) のメタデータ情報を簡単に横断可能

Will be available to deploy from GitHub ([Microsoft/sql-server-samples](https://github.com/microsoft/sql-server-samples))
<https://github.com/rodrigomonteiro-gbb/arc-sql-dashboard/tree/master/samples/features/azure-arc/dashboard>



SQL Serverの新しいクラウド課金モデル

使用した分だけ支払えば、コスト効率が向上する



Azure Arcで有効なSQL Serverの
従量課金ライセンス
(1コアあたり月/時間あたり)

価格	月額料金	時間料金
Standard Edition	\$73	\$0.100
Enterprise Edition	\$274	\$0.375



柔軟なライセンスオプション

SQL Serverのライセンスは消費型と永久から選択可能



コスト効率

スパイクやアドホックな利用には時間単位で支払い。初期投資が不要



ハイブリッド展開に対応

オンプレミスと3rdサードパーティクラウドで一貫した購入オプション

Arc 対応 SQL Server のベストプラクティス評価

オンプレミス環境とマルチクラウド環境のあらゆるリスクにプロアクティブに対応

SQL Serverの構成を評価する:

- ✓ セキュリティとコンプライアンス
- ✓ 可用性と事業継続性
- ✓ パフォーマンスとスケーラビリティ
- ✓ オペレーション
- ✓ 変更および構成管理

Azureから任意のSQL Serverへの拡張診断

間隔を空けてスキャンし、最新の結果を得る

運用の安定性を高めると同時に、DBAの日常的な作業負荷を軽減

SQLServer2016

Auto refresh: Off

Total Issues



Category



Name: All Severity: All Tags: All Check Id: All

The first grid shows you each recommendation and the number of instances your environment hit that issue. When you select a row in the first grid, the second grid lists all the instances for that particular recommendation. If there is no selection in the first grid, the second grid shows all recommendations. Note that the results are limited to the first 100 instances per recommendation. You can use the drop downs above the grid to filter the results. You can also use "Export to Excel" and "Open the last run query in the Logs view" options by selecting the small icons on the top right corner of each grid.

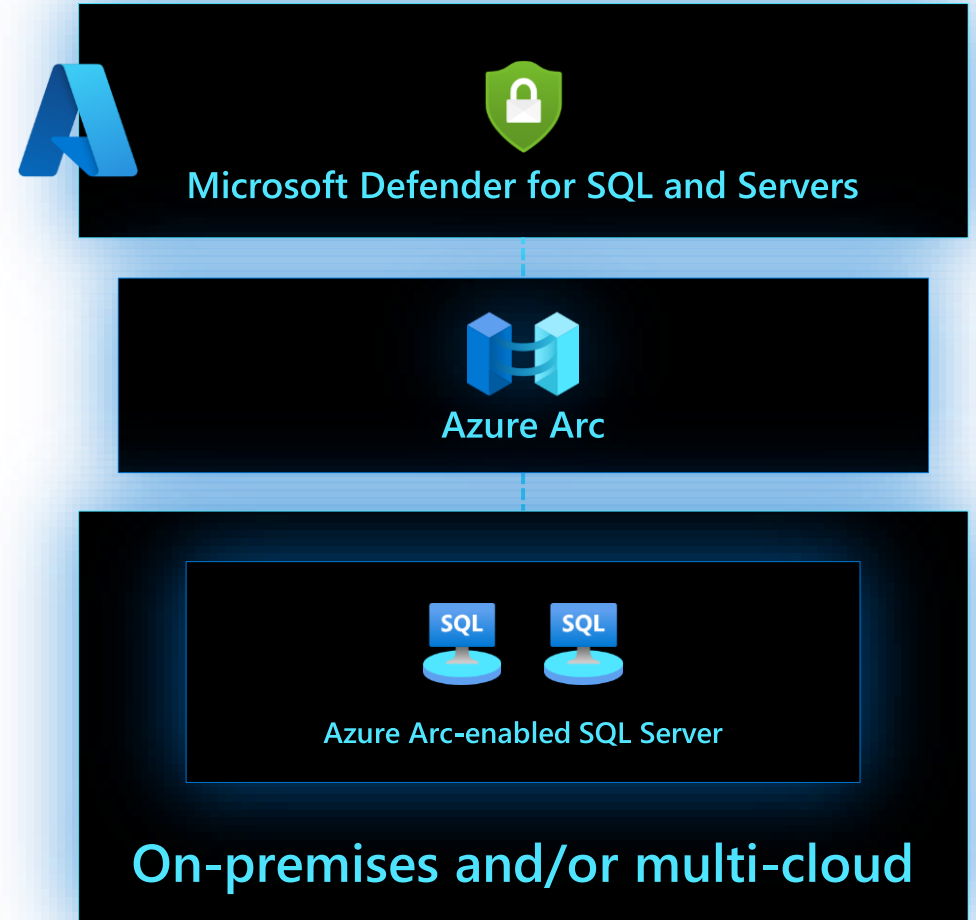
Severity	Tags	Check Id
High	Performance,Memory	LockedPagesInMemory
High	DBConfiguration,Performance	InstantFileInitialization
Medium	Index,Performance	UnusedIndex
Medium	Index,Performance	IndexFragmentation
Medium	DBCC,Performance,DataIntegrity	DbIntegrity

Target	Name	Severity	Message
Server	SQLSERVER2016	High	Enable instant file initialization
Server	SQLSERVER2016	High	Enable the 'Lock pages in memory' option
Server	SQLSERVER2016	Medium	Move error log and default trace files to data disk
Server	SQLSERVER2016	Medium	Enable 'Optimize for ad hoc workloads' option on heavy OLTP ad-hoc workloads to c
Server	SQLSERVER2016	Medium	Update SQL Server and install service packs and cumulative updates. Current product

Microsoft Defender for Cloud - データベースの保護

Microsoft Defender for Cloudによる包括的なデータベース保護

- ハイブリッドおよびマルチクラウドのSQLサーバーを継続的に評価し、セキュリティ保護し、脆弱性と脅威から守ります
- **Defender for SQL** と **Defender for Servers** を大規模に展開し、Arc 対応の SQL Server を保護します
 - ✓ 脆弱性評価スキャン
 - ✓ Built-in 推奨事項
 - ✓ 高度な脅威からの保護
- ポイント・アンド・クリックの修正または詳細なガイダンスにより、潜在的な脆弱性を修復する
- Microsoft Sentinel/外部SIEMとの統合によるインシデント管理と脅威インテリジェンス



Azure Arcによる ESU(Extended Security Updates) 購入

なぜ企業はクラウドに向かうのか

ハイブリッドワークの実現

ソフトウェアのサポート終了
データセンターの契約満了
ソフトウェア・ハードウェアの更改

キャッシュフローの課題、
CAPEX から OPEX への移行

サイバーセキュリティの脅威

急なキャパシティの必要性
予算とリソースの制約

Web アプリと
インフラストラクチャの
迅速なスケーリング

アプリケーションの
イノベーション

アプリケーションの
コスト最適化

市場投入までの時間の短縮



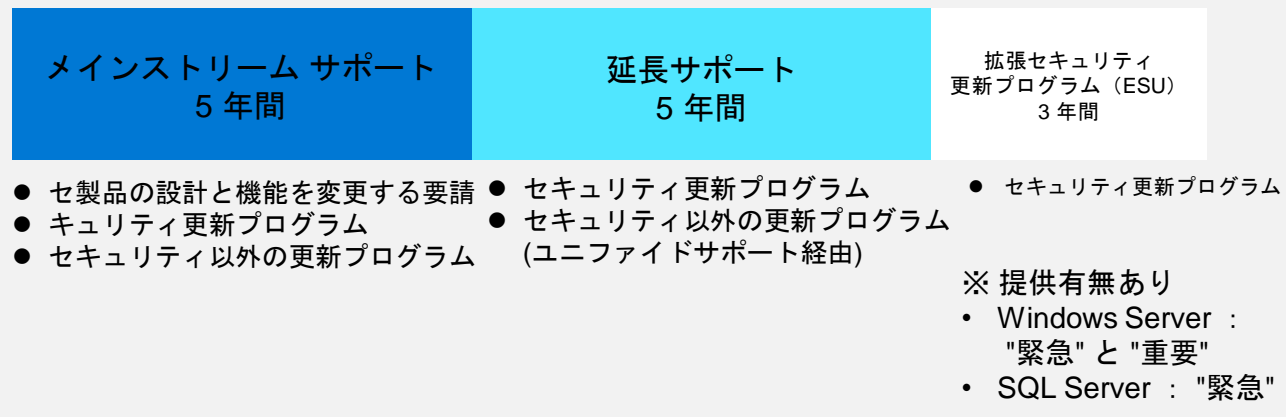
サーバー製品のライフサイクルの概要

サポートの終了は、セキュリティ更新プログラムの終了を意味します

固定ライフサイクルポリシー

製品リリース

サポート終了



サポート終了とは、特定の OS またはアプリケーションのセキュリティ更新プログラムの終了を意味します

これにより、お客様は、アクションを実行しない場合、セキュリティリスクとコンプライアンスの懸念にさらされたままになります

拡張セキュリティ更新プログラムは、お客様がモダナイゼーションオプションを検討している間、最大 3 年間追加のセキュリティパッチを提供します

セキュリティ更新プログラム レート	説明
緊急 (Critical)	ユーザーの介入なしにコードが実行される可能性がある脆弱性。Web ページを閲覧したり、電子メールを開いたりするマルウェアなど
重要 (Important)	悪用すると、ユーザーデータの機密性、整合性、または可用性、または処理リソースの整合性または可用性が侵害される可能性がある脆弱性

Azure Arc による 拡張セキュリティ・アップデート(ESU)の購入

柔軟性と拡張性

柔軟な価格設定オプションにより、サポート終了予定日を過ぎても分散型レガシーOSを稼働させることができます。

安定性と信頼性

高可用性によるWindows Server 2012/R2の一貫したパフォーマンスの確保

セキュリティとコンプライアンスの強化

Azureのセキュリティとガバナンスをお客様の環境にシームレスに拡張し、サポートされるソフトウェアでコンプライアンスを維持します。



Microsoft Defender for
Cloud



Microsoft
Sentinel



Azure
Policy



Azure
Monitor

Resources	Cost per month
Server - Azure Arc	\$750.00
Contoso-Arc-Server-01	\$250.00
Contoso-Arc-Server-02	\$250.00
Contoso-Arc-Server-03	\$250.00

Enroll and activate ESUs directly in the Azure Portal

Azure ArcによるESU(Extended Security Updates) 購入

	従来のESUライセンス	Azure Arc管理のESU
課金単位	年	月 →利用を停止した月以降は課金されません →費用削減につながります
適用/設定	大変 →各端末で作業が必要	簡単 →Azure Portalから一元管理可能
今後の運用	継続してオンプレ/クラウドをそれぞれ管理	これをきっかけにハイブリッドクラウド運用へ移行可能(監視やポリシー適用、自動化等をAzure Portalで)

Microsoft Confidential

- 本資料は情報提供のみを目的としており、本資料に記載されている情報は、本資料作成時点でのマイクロソフトの見解を示したものです。状況等の変化により、内容は変更される場合があります。本資料に特別条件等が提示されている場合、かかる条件等は、貴社との有効な契約を通じて決定されます。それまでは、正式に確定するものではありません。従って、本資料の記載内容とは異なる場合があります。また、本資料に記載されている価格はいずれも、別段の表記がない限り、参考価格となります。貴社の最終的な購入価格は、貴社のリセラー様により決定されます。マイクロソフトは、本資料の情報に対して明示的、黙示的または法的な、いかなる保証も行いません。

SQL Server のライセンスタイプの選択方法

お客様によるコスト最適化のコントロール

✓ 従量制

- ✓ SQL Serverが接続された後、時間単位の従量課金をトリガーします
Enables core Arc features

✓ Software assurance or SQL Subscription

- ✓ コスト管理におけるライセンス使用状況の可視化
- ✓ コア機能の有効化

✓ ライセンス取得のみ

- ✓ コスト管理におけるライセンス使用状況の可視化
- ✓ コア機能を無効にする

✓ 選択はいつでも変更可能

- ✓ Azureポータルまたはスクリプトを使用してライセンスタイプを変更する
- ✓ 翌1時間後に発効

Home > Azure Arc | SQL Servers > Add existing SQL Server instances >

Connect Azure Arc-enabled SQL Server

Microsoft

Prerequisites **Server details** Tags Run script

Azure Arc-enabled SQL Server allows you to centrally apply policies and run assessments against existing SQL Server instances running on either connected machines or via indirect connections on-premises.
[Terms of use](#) | [Privacy policy](#)

Project details

Select the subscription to manage deployed resources and costs. Use resource groups like folders to organize and manage all your resources.

Subscription *

Resource group *

Server details

Designate an Azure region where machine metadata will be stored.

Region *

Operating system *

Server Name

Proxy server

If your environment requires a proxy server to connect to the internet, please specify the proxy server information below.

Proxy server URL

SQL Server management details

Specify the SQL Server edition and license type you are using on this machine. [Learn more](#)

License type * I want to license my production environment on this server with Enterprise or Standard edition using pay-as-you-go ("PAYG")

I have a production environment on this server with Enterprise or Standard edition covered by Software Assurance or SQL subscription ("Paid")

I use other license types on this server with Evaluation, Developer, Express edition or a SQL license without Software Assurance ("LicenseOnly")

By default, all SQL Server instances on the server will be registered. To exclude SQL Server instances from registration, enter the instance names separated by space.

サポート終了までのスケジュール

July 9, 2022

● SQL Server 2008、2008 R2拡張セキュリティ・アップデート終了

July 12, 2022

● SQL Server 2012 サポート終了

July 12, 2023

● Azure Arcで有効化されたSQL Server 2012の拡張セキュリティ・アップデートが2年目も利用可能に

Azure上のSQL Server 2008および2008 R2拡張セキュリティアップデートが終了

October 10, 2023

● Windows Server 2012および2012 R2のサポート終了について

July 9, 2024

● SQL Server 2014 Service Pack 3のサポート終了について

EOSワークロードのオプションを評価する



Azureでモダナイズする

Azure App ServiceとAzure SQL Managed Instanceによるモダナイズで、サポート終了を回避し、常に最新の状態を維持

Azure Migrateで移行中にOSのバージョンをアップグレードする

クラウド管理をオフロードし、革新的なアプリと顧客体験の提供に集中



無料ESUのための移行¹

セキュリティ・アップデートの無償提供

Azureハイブリッド特典との併用でさらにお得に

リザーブド・インスタンスとAzure Savings Planによるコスト効率の高い消費モデル



New: Azure Arc で有効化されたESUのデプロイ

Azureに一元化された柔軟な月額課金モデル

シームレスで自動化されたパッチを適用するために、Azure Arcで有効化された拡張セキュリティ・アップデートを購入

Azureの運用と管理をハイブリッド環境とマルチクラウド環境に拡張

Microsoft Defender for Cloudでクラウドネイティブなセキュリティソリューションによる保護を強化

¹Azure VM、専用ホスト、Azure VMwareソリューション、Nutanix Cloud Clusters on Azure、およびAzure Stack (HCI/Hub/Edge) が含まれる

拡張セキュリティアップデート (ESU) 対応ソリューション

Windows Server 2012および2012 R2、SQL Server 2012、SQL Server 2014

	On premises	SPLA	Azure VMs and Azure Dedicated Host	Azure Stack Hub/Edge/HCI	Azure VMware Solution, Azure Nutanix Solution
SQL Server	Azure Arc で有効な ESU を購入する VLSC経由でESUクラシックを購入	Azure Arc で有効な ESU を購入する VLSC経由でESUクラシックを購入	無料ESU	無料ESU	無料ESU
Windows Server	Azure Arc で有効な ESU を購入する VLSC経由でESUクラシックを購入	Azure Arc で有効な ESU を購入する VLSC経由でESUクラシックを購入	無料ESU	無料ESU	無料ESU

Azure Arc enabled Server のアーキテクチャ

Connected Machine エージェント

Azure Arc に接続されたサーバー (オンプレミス、AWS EC2 など)

Azure Arc Connected Machine エージェント

エージェントに渡されるパラメーター:

- サブスクリプション ID
- 場所
- リソース グループ
- プロキシ (オプション)
- Azure サービス プリンシパル

Hybrid Instance Metadata Service (HIMDS)
Azure AD によるマネージド ID と通信の処理

ゲスト構成
ゲスト内ポリシーとゲスト構成機能 (マシンが必要なポリシーに準拠しているかどうかの評価など) の提供

拡張機能マネージャー
VM 拡張機能 (インストール、アンインストール、アップグレードを含む) の管理

更新管理

Log Analytics
(MMA 拡張機能)

オンプレミスから Azure への接続は、Https/443 のアウトバウンドのみ

Microsoft Azure

Azure AD

認証と認可

Azure portal
Az CLI
Azure SDK
REST API

Azure Resource Manager (ARM)

HTTPS/443

ハイブリッドコンピューティング
リソースプロバイダー

HTTPS/443

ゲスト構成
リソースプロバイダー

HTTPS/443

Log Analytics
ワークスペース

まとめ

- ・ Azure Arc の導入の背景と Azure Arc の基本機能
- ・ これからのマルチ・ハイブリッドクラウド時代には統一的な管理ツールを導入いただくことで、煩雑さが軽減され、統制が取れたIT戦略を実装可能であり、必要条件であること
- ・ Azure Arc を導入することで簡単に Extended Security Updates (ESU) が購入可能



Microsoft Confidential

- 本資料は情報提供のみを目的としており、本資料に記載されている情報は、本資料作成時点でのマイクロソフトの見解を示したものです。状況等の変化により、内容は変更される場合があります。本資料に特別条件等が提示されている場合、かかる条件等は、貴社との有効な契約を通じて決定されます。それまでは、正式に確定するものではありません。従って、本資料の記載内容とは異なる場合があります。また、本資料に記載されている価格はいずれも、別段の表記がない限り、参考価格となります。貴社の最終的な購入価格は、貴社のリセラー様により決定されます。マイクロソフトは、本資料の情報に対して明示的、黙示的または法的な、いかなる保証も行いません。

© 2023 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft, Windows, その他本文中に登場した各製品名は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標です。